



## 青山学院教育方針

*Educational Policy*

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

# The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクールモットー 「地の塩、世の光」 マタイによる福音書 第5章 13～16節より

## 高等部スクールポリシー

*School Policy*

### Graduation Policy

(卒業時の到達目標に関する方針)

<キリスト教教育>  
キリスト教の精神に基づき、人生を深く考え、愛と奉仕の精神を日常生活で実践する力を有している

<教科教育>  
幅広い学問に対して柔軟に対応できるバランスの取れたリテラシー<sup>1)</sup>を有し、自己を深く理解し、未来を見据えた生涯学習者としてのコンピテンシー<sup>2)</sup>を有している

<集団活動>  
コミュニティの中で異なる価値観や個性を等しく尊重し、変化する環境の中で自らの役割を見出しそれをすすんで果たす力を有している

<国際理解教育>  
地域社会の課題から地球社会の課題まで当事者として主体的に取り組もうとする姿勢を持ち、異なる文化圏の人と柔軟にコミュニケーションを取ることができる

### Curriculum Policy

(教育課程編成の方針)

<キリスト教教育>  
毎日の礼拝と聖書の学びを通して、真実を求める心を培い、神と人生とについて深く考え、人を愛し人に奉仕する人間の育成に努める

<教科教育>  
教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力・表現力を持ち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める

<集団活動>  
学校の諸活動を通して、集団の中で自分の果たすべき役割を知り、それを実行できる人間の育成に努める

<国際理解教育>  
国際的な視野に立って将来の社会に責任を負うことのできる人間の育成に努める

### Admission Policy

(入学者受け入れの方針)

<キリスト教教育>  
本校の教育理念に関心を寄せ、キリスト教精神の理解に努める姿勢を持てること

<教科教育>  
中学校卒業相当、およびそれに準ずる知識と表現力を有し、教科を限定しない幅広い知的好奇心や探究心を有すること

<集団活動>  
学校や地域社会などの所属するコミュニティに関わろうとする意欲をもち、他者と協力して問題解決に取り組もうとする姿勢を持てること

<国際理解教育>  
国際社会に対する関心をもち、差異を超えて共に学ぼうとする姿勢を持てること

1) リテラシー：学問的な概念を理解し、論理的に情報を活用する知識や技能  
2) コンピテンシー：社会文化的・技術的ツールを活用する力、多様な社会関係を構築する力、自律的に行動する力

## 高等部部長メッセージ

*Message*

### 隣人と共に生きる—「地の塩、世の光」として

青山学院高等部へ、ようこそ!

本校は明治初期、アメリカの宣教師たちによって創設されました。「自身に与えられた賜物(タレント)を活かし、他者に仕える人間を育てる」という建学の精神は、今も私たちの中心にあります。スクールモットーは「地の塩、世の光」。自ら溶けて周囲を活かす隠し味となり、暗闇を希望の光で照らす—そのような「隣人と共に生きる」人を育むことが、私たちの願いです。

青山学院高等部は、生徒の自主性を尊重する独自の「高等部文化」を育んできました。よく「自由な校風」と言われますが、それは単なる放任ではありません。ルールの意義を考え、必要なら対話で変えていく。生徒たちはそのプロセスを通じ、「真の自由とは何か」「隣人と共に生きるとはどういうことか」を3年間かけて学び取っていきます。

「隣人」とは、単に近くにいる人ではなく、国籍や文化、経済的・社会的な背景が異なる人、自分には想像もできない困難を抱える人や、ユニークな個性を発揮している人、自分とは「違う」と感じるあらゆる他者が、私たちにとっての隣人です。こうした多様性(Diversity)を大切にする精神こそが、本校の国際理解教育や平和・共生教育の土台となっています。グローバルな舞台でも、日々のローカルな生活でも、本質は同じです。他者と共に生きることを喜ぶ感性をここで養ってほしいと願っています。

大学受験という枠組みに捉われない、本質的な学びも本校の大きな特色です。単なる知識の習得を目指すのではなく、大学、そして社会に出ても真に生き続ける力を養います。演習や実験を重ねて思考を深め、対話や発表の場を通じて、確かな発信力と他者と協働する力を育てます。

私は、本校の生徒たちを心から誇りに思っています。ユーモアを忘れず、時に葛藤し、失敗しながらも、ここぞという場面で鮮やかに才能を発揮する彼らの姿には、私自身、日々胸を打たれる思いです。一人ひとりに内在する「賜物」を見つめ、それを引き出すことが私たちの使命です。

今、改めて「学校」の意義が問われています。価値観が多様化し、学校以外の学びの選択肢が広がることは、決して否定すべきことではなく、むしろ歓迎すべき変化であると私は捉えています。しかし同時に今、多様な背景を持つ他者と直接出会い、「隣人と共に生きる」ことを肌で感じる経験が、かつてないほど重要になっています。それこそが、今の時代における学校の真の意義であると確信しています。

受験勉強の枠を超え、広く深い学びを経験したい。  
クラブ活動に打ち込み、仲間とかけがえのない時間を過ごしたい。  
授業以外の場所でも外国語に触れ、多様な文化を肌で感じ取りたい。  
生徒会活動や行事の運営を通じて、主体的に組織を動かす経験をしたい。  
高校・大学在学中に、留学という挑戦によって世界への視野を広げたい。

このような願いを持つ皆さんの「扉を叩く勇気」を、私たちは心から歓迎します。青山学院高等部で、あなたの賜物を共に磨いていきましょう。



青山学院高等部 部長  
田中 由紀

